

# 広島市植物公園 見どころ案内

## エビネ (ラン科)

日本に自生する野生ランで、かつては林間などで普通に見られましたが過去のブームによって数を減らし、現在は環境省の準絶滅危惧(NT)に指定されています。

## 展示会のご案内

- ◇展示資料館 (4/3~5/5)  
ポタニカルアート作品展
- ◇展示温室 (3/6~4/18)  
ゼラニウム展
- ◇屋外展示場 (4/10~4/21)  
サクラソウ展

## シロカピタン (マメ科)

ヤマフジの園芸品種で白花美短が転じてこう呼ばれるようになりました。フジと比べると花穂が短く、甘い香りを漂わせています。

## マミラリア (サボテン科)

堅い羽毛のような棘をもつものが多いサボテンです。頂点に冠のように花を咲かせています。

## リビングストーン デージー

### (ハマミズナ科)

南アフリカ原産の半耐寒性一年草です。花は日中に開花し、夜間や雨の時には閉じます。

## ヒスイカズラ (マメ科)

フィリピン原産。ヒスイ色の長い花房が数多く咲いています。

## ランアンキュラス

### (キンポウゲ科)

ラックスシリーズという花弁に光沢があるスプレー咲きの園芸品種です。

## アイスランドポピー (ケシ科)

和名はシベリアヒナゲシ。ケシの仲間ですが、アヘン成分を含みません。ヒナゲシやオニゲシも同様。現地では越年しますが、高温多湿を嫌うので、1年草扱いです。

## オキナグサ (キンポウゲ科)

毛に覆われた赤い花がうつむき気味に咲いています。花後にできる白い綿毛に覆われた果実を翁の白髪に見立ててこの名が付けました。

## ネモフィラ (ムラサキ科)

レストラン前の花壇に植えてあるネモフィラが咲き始めました。鮮やかな青色の花が一面に広がっています。

## フジ (マメ科)

ノダフジとも呼ばれ、ヤマフジとは別の種になります。花序を垂れ下げて紫色の花を咲かせていて、クマバチが忙しく飛び回っています。

## シキミ (マツブサ科)

仏事に使われるため、お寺によく植えられています。全体が有毒で果実は中華料理に使う八角に似ているため、中毒事故が時々起きています。

## ベニバナトキワマンサク

### (マンサク科)

トキワマンサクの園芸品種で、赤いヒモ状の花を咲かせます。丈夫な樹木なので生垣などにも用いられます。

## 菊桜 (バラ科)

サクラの仲間が一番遅咲きの菊桜が満開になっています。

